

(様式1・小学校用①)

令和3年度 学 校 評 価 報 告

草加市立八幡小学校

(令和4年1月21日作成)

1 学校教育目標 勉強する子 良い子 強い子	
2 重点目標・努力目標 <ul style="list-style-type: none">・やる気で勉強する子の育成・はっきりあいさつする子の育成・たくさん運動する子の育成	3 前年度の成果と課題 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none">○前年度に引き続き児童の学力、体力、規律ある態度の向上が図られた。○「草加っ子の学びを支える授業の5か条」について、教職員が意識を高め授業の中に取り入れ、児童の主体的で対話的な活動を重視した授業を展開したことにより、児童の表現力が向上し、意欲的に学習する児童が増えた。○コロナ禍でさまざまな制限がある中であつたが、感染症対策を取った上で、実施方法を工夫しながら行事や教育活動を進めることができた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none">●様々な場面で授業を見合える機会を増やし、教員一人一人の授業力を向上させていく。●タブレットをはじめとするICT機器の活用について研究を進め、様々な状況に対応できるようにしていく。●児童の実態に合わせ日課を見直し、より効果的に教育活動が進められるようにしていく。

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○コロナ禍においても、昨年度の経験を基に運営し、できる限り教育活動を進めることができた。 ●会議の持ち方の工夫と業務内容の再編により、引き続き負担軽減を図る。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	B	○昨年度までの研究をベースに新たな指導者を招聘し校内研修を進め、授業改善につなげることができた。 ●研修を通して得た成果を、日頃の教育実践の場に生かせるよう各自の意識を高めていく。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○定期の安全点検及び日頃の巡視等で気づいた点を素早く修繕し、事故を防ぐことができた。 ●職員一人一人の危機管理意識を高め、より一層の安全管理に努めていく。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○個人情報の取り扱いを全職員で確認し、情報管理を徹底できた。 ●タブレットの安全かつ有効な活用について、環境整備を進めていく。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○学校運営協議会を基に、PTA、地域の各町会と連携を図り、防災教育の視点から新たな形のやはた祭を開催することができた。 ●学校HPのより一層の充実を図る。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	B	○特別支援学級のオンラインでの作品交流や保育園の避難訓練や学校訪問等、できる範囲での活動を行いながら、連携教員を活用し、幼保小中一貫教育を推進することができた。 ●できることから活動を行い連携を深めることで、一貫教育のさらなる充実につなげていく。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン学習の状況を見ながら、できる限り授業時数の確保をし、行事についても状況を見ながら行い、教育課程を実施することができた。 ●児童の実態をとらえ、日課表等の見直しを図る。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○「草加っ子の学びを支える授業の5か条」を意識した授業改善に努めた。 ○ICT機器の研修と整備を進め、児童の学習意欲の喚起、学習内容の理解に役立った。 ●今後も授業改善を継続して行うことで、学力向上を図っていく。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を充実させることで、資料を十分に活用しながら考えを深める授業を展開した。 ○指導者を招聘し授業研究を行い、「考え議論する道徳」の授業づくりを進めた。 ●教材研究をさらに充実させ、児童の道徳的価値観の向上を図る。
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語活動担当教員がALTと綿密な打ち合わせのもとで授業を行い、コミュニケーションを図る素地の育成ができています。 ●評価について、さらに研修を進めていく。
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○活動が制限される中でも、内容や規模を工夫し、主体的な活動が見られた。 ●様々な制限の中でも、児童の意欲を大切にしながら行事や児童会活動等の充実を図っていく。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○探求活動や体験活動を取り入れ、ICT機器を活用しながら主体的な授業を展開した。 ●児童が主体的に学習に取り組めるような課題設定のもと内容の充実を図る。
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月の生徒指導委員会やハートカード、生活アンケートの実施により、早期発見・早期対応ができています。 ●児童理解に取り組み、積極的な生徒指導を進めていく。
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○社会、学級活動、総合的な学習の時間、学級での係活動等で職業的自立に必要な基盤となる能力や態度の育成を図った。 ●キャリアパスポートの効果的な運用について準備を進めていく。
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○コーディネーターを中心に、校内委員会の役割を分担し、諸機関との連携をとりながら特別支援教育への理解が深まり、児童への日々の指導に生かされた。 ●通常学級と特別支援学級との交流活動を充実させ、相互理解をさらに深めていく。
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○読み聞かせや本の紹介、スタンプラリー等の活動に加え、ビブリオバトルへの取組により、読書活動の充実が図れた。 ●本に親しむ機会を増やし、学年学級の読書量の差を縮めていく。
⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末と大型テレビを積極的に活用し、児童の関心や意欲を高めるとともに授業に生かすことができた。 ●情報モラル教育を進めていく。 	

⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実 	A	<p>○人権作文や標語への取組や、インターネットやスマホによる人権侵害等の身近な問題を取り上げ、人権問題と自分との関わりについて考えられるよう取り組んだ。</p> <p>●近年における様々な人権問題にも正しく理解し行動できる児童を育成する。</p>
-------	--	---	--

(様式1・小学校用③)

草加市立八幡小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	①学力向上への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な学力向上 ・校内研修の充実 	A	<p>○全国学力・学習状況調査では、国語・算数の平均正答率が全国・県の平均を上回った。</p> <p>○県の学力調査では、国語の全学年で県・市の平均正答率を上回り、校内研修の成果が見られた。</p> <p>●記述式の問題に課題が残った。</p>
	②体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の工夫改善 ・年間指導計画の改善 ・授業外活動の推進 	B	<p>○グリーンコースマラソンや縄跳びに取り組み、体力向上を図った。新体力テストでは、昨年度の課題として挙がっていた50m走と反復横跳びに向上が見られた。</p> <p>●今年度は上体起こしに課題が見られた。体育の補強運動や準備運動等を生かし、継続した取り組みを行うことでさらなる体力向上を目指していく。</p>
	③規律ある態度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活での取組 ・家庭との連携 	B	<p>○県の調査では、「時刻を守る」「掃除・美化活動」等で引き続き高い達成率が見られた。また、「言葉遣い」「返事」の項目で、伸びが見られている。</p> <p>●学校アンケートでは「整理整頓」の項目において、83%の児童ができていたと答えていたが、保護者の回答は55%にとどまり課題が見られた。家庭と連携しながら取り組んでいく。</p>

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- ・「草加っ子の学びを支える授業の5か条」について、授業の中に自然と取り入れられるようになり、児童の主体的で対話的な活動を重視した授業を展開したことで、児童の表現力が向上し、意欲的に学習する児童が増えた。
- ・国語を中心とした校内研修や読書活動を推進したことの成果が表れ、児童の読む力が定着してきている。
- ・コロナ禍でさまざまな制限がある中であったが、感染症対策を取った上で、実施方法を工夫しながら行事や教育活動を進めることができた。特に、学校運営協議会を活用し、PTAや地域の各町会、市役所とも連携を図りながら、防災教育の視点で新たな形のやはた祭を開催することができたことは有意義であった。

6 次年度の改善策

- ・タブレットをはじめとするICT機器の活用について研究を進めるとともに、情報モラル教育についても指導を進めていく。
- ・研修を進めていく中で様々な場面で授業を見合える機会を増やし、教員一人一人の授業力の向上を図る。
- ・スポーツタイムや縄跳びチャレンジといった取り組みを工夫し、児童が意欲的に体力づくりに励むことができる環境を整えていく。